

魔王

<発問>

「魔王」では、魔王が子に声をかける台詞が3回出てきます。

- ①（最初） かわいいぼうや おいでよ
- ②（中間） ぼうや いっしょにおいでよ
- ③（最後） かわいや いいこじゃのう ぼうや

②の場面を表すために、①③に対してどのような変化をつけているのか、「音の高さ」と「リズム」に注目して書きましょう。さらに、「魔王」の曲全体の中で、「同じようなセリフでも場面ごとに変化をつけている」ことにより生まれる曲の良さや、自分の好きなところを書きましょう。

<解答欄>

<評価規準の例>

A	「音の高さの変化」「リズムの変化」両方書けており、更に曲の良さや自分が好きなところまで含めて書けている。
B	「音の高さの変化」「リズムの変化」両方書けているが、曲の良さなどには言及していない。
C	「音の高さの変化」「リズムの変化」「リズムの工夫」のどちらか、あるいは両方が書けていない。

<評価Aの解答例>

(例) ②は魔王が子を色々と誘惑するところで、①③よりも低い音域だが、リズムカルで楽しそうな雰囲気を出している。
↑「音の高さの変化」 ↑「リズムの変化」

魔王が最初に声をかけるところ、子を誘惑するところ、子をさらうところでそれぞれ音の高さが高くなるなどの工夫があり、魔王の恐さが巧みに表現されていて、緊張感をあおられるところがよい。

↑曲の良さや自分が好きなところ